

まちの宝・国指定史跡「首羅山遺跡」

久山町にある「首羅山遺跡」は、国指定史跡にも選定されているとても貴重なもの。町では、子どもも大人も誰もが皆、この遺跡のことをとてもよく知っています。生きた教材として小学校での教育に取り入れたり、さまざまなイベントを行ったり――。積極的な取り組みの数々が、まちの大切な文化財をより輝かせているのです。

首羅山遺跡とは？

久山町久原地区の白山にある遺跡。かつて、白山は「首羅山」と呼ばれており、350もの坊（お坊さんの住居やお寺）がありました。調査の結果、平安時代後半から鎌倉時代に最盛期を迎えた寺院があり、大陸と深くつながりを持っていたことがわかりました。



平成25年3月27日

国指定史跡に指定！

首羅山遺跡の調査が始まったのは平成17年。その後、8年間の調査を経て国指定史跡となりました。福岡県内の山岳寺院としては、豊前市の求菩提山に次いで二例目。しかし、国指定史跡になったのは、遺跡の重要性だけではなく、首羅山遺跡を愛する久山町の小学生や地域のボランティアなど、地域の力が大きく評価されました。



子どもたちが制作した
絵本「わたしたちの首羅山ものがたり」



首羅山遺跡の
シンボル・薩摩塔

首羅山遺跡のこと 私が詳しく紹介 します！



相良 彰四郎さん

ボランティアグループ山久会、久山町歴史文化勉強会に所属。久山町の文化財に関するプロフェッショナル

発掘調査

首羅山遺跡の調査は、地域のボランティアの協力を得て、竹を伐採することからスタート。発掘調査にも、研究者だけでなく地域の方が多く参加し、歴史が解明されるおもしろさを体験しました。



首羅山遺跡見学会 でのおもてなし

首羅山遺跡見学会にあわせて、地元である上久原地区のボランティアによって猪汁がふるまわれ、参加者に大好評です！



地域の
ボランティアが
大活躍！



伝承に沿って
首羅山の歴史を
勉強中！



行政と町民が
いっしょになって
取り組んでいます



自主的な勉強会

まちの歴史好きが集まる久山町歴史文化勉強会では、月に1度、第1土曜日に勉強会を行ったり、見学会の準備・案内、まちの文化財めぐりの主催などを実施。首羅山遺跡普及の中心的存在として活躍しています。



太鼓劇の 創作・演奏

町の太鼓グループが、首羅山の開山伝承に関する太鼓劇を創作・演奏。白山権現が百済から虎に乗ってやってきた…という首羅山のはじまりのものがたりを楽しむことができます。



山の整備

首羅山遺跡のふもとでは、猪野地区の住民の方もあらたな魅力づくりを行っています。桜山の手入れや階段の整備、さくら祭りの開催などに取り組んでいます。



まちの宝を伝える

首羅山遺跡学習

久山町にある山田小・久原小2つの小学校では、総合的な学習「わたしたちの首羅山遺跡」を中心に、首羅山遺跡を教材とした歴史学習を実施。平成20年からは、より深化した学習内容を行っており、毎年異なるさまざまな取り組みを行っています。その学習の取り組みは、2014年の博報賞・文部科学大臣奨励賞を受賞しました。遺跡の重要性や活用法を多くの町民に発信する役割を担っただけでなく、首羅山遺跡を通して、ふるさとを知り、ふるさとを愛する心を育成しています。

学習の 内容 Learning

- ・希望者による一般見学会への参加
- ・「私たちの首羅山遺跡」壁面制作
- ・出土瓦拓本制作
- ・ステンドグラス制作
- ・「首羅山サミット」開催
- ・映画「私たちの首羅山遺跡」制作
- ・国史跡指定記念イベント「首羅山遺跡の現在と未来」開催
- ・絵本「わたしたちの首羅山ものがたり」制作
- ・首羅山遺跡をキャッチコピーでアピール
- ・リーフレット制作
- ・「首羅山でぬぐい」制作

Comment



久山町立久原小学校
教頭 安部 憲司 先生

子どもたちの心の中にある “ふるさと”への想いを深めたい

歴史は子どもたちにとって、自分との関係が薄く、かけ離れた事象という認識。興味をもつのは難しく、暗記教科になりがちです。しかし、自分が暮らすまちの歴史がここに加わってくると、身近に感じられるようになり、興味が湧いてくるようです。久山町にある山田小学校と久原小学校では、小学校6年生の総合的な学習の時間を「首羅山遺跡」を中心とした歴史学習の時間に設定。遺跡を紹介する映画や絵本、リーフレットを制作したり、ステンドグラスやてぬぐいを作ったり、楽しい体験や出会いを通して理解を深めています。また、この学習を体験した子どもたちの心の中には、まちの宝を大切に育む心が育まれます。